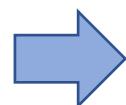


計画の位置づけ

- ・スポーツ基本法において、都道府県はスポーツの推進に関する計画を定めるよう規定
- ・石川県スポーツ推進条例においても、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、地方スポーツ推進計画を策定する旨を規定
- ・これまで、「第2期石川の教育振興基本計画」（平成28～令和2年度）のスポーツに関する部分を本県の「スポーツ推進計画」と位置づけ



令和2年度の「第2期石川の教育振興基本計画」の改定にあわせて  
スポーツ分野単独の「石川県スポーツ推進計画2021」（令和3～7年度）を策定

これまでの取組・現状

取組の方向性

基本施策Ⅰ 生涯にわたるスポーツ活動の振興	基本施策Ⅱ 競技スポーツの振興	基本施策Ⅲ スポーツを通じた地域活性化
<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民がスポーツに親しむことができる環境の整備 →「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」の開催</li> <li>→「いしかわスポーツマイレージ」の運用</li> <li>→運動実施率のさらなる向上が必要</li> </ul> <p>〔成人の週1回以上のスポーツ実施率 R2：本県49.4%、全国59.9%〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジュニア選手の発掘・育成 →「ジュニアアスリート発掘事業」の実施</li> <li>○国体選手等の育成・強化</li> <li>○障害者アスリートへの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内トップスポーツチームとの包括連携協定の締結による、スポーツ振興と地域活性化</li> <li>○オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進 →「いしかわ県民スポーツの日」の制定や、各種イベントによるスポーツ活動の活性化</li> <li>→「いしかわスポーツマイレージ」のさらなる活用による、運動習慣づくりの促進</li> <li>○スポーツ施設の整備・充実 →施設の長寿命化対策や機能の充実</li> <li>→老朽化が進行する県立野球場の建て替えに向けた検討</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p><b>主な数値目標</b> 【成人の週1回以上のスポーツ実施率】 現状値：49.4%（R2） 目標値：65.0%（R7）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジュニア選手の育成と強化 →優れた才能を持つ有望なジュニア選手に対する合宿や練習会等の開催による育成・強化</li> <li>○より高いレベルの選手の育成と強化 →国体選手の計画的な強化</li> <li>→アーバンスポーツの普及を通じた、若い世代におけるスポーツの裾野の拡大</li> <li>○障害者アスリートの競技力向上 →障害者アスリートとその介助者に対する支援の実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p><b>主な数値目標</b> 【国民体育大会男女総合順位（天皇杯順位）】 現状値：35位（R1） 目標値：20位台以内（R7）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内トップスポーツチーム等との連携 →親子と選手たちが交流する「いしかわスポーツキッズフェスタ」や、県内小中学校でのスポーツ教室・職業講話の開催</li> <li>→企業等と連携したオリンピック・パラリンピック競技の体験教室の開催</li> <li>○東京2020オリンピック・パラリンピックレガシーの活用 →合宿実施国との交流等の継続</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p><b>主な数値目標</b> 【県内トップスポーツチームのホームゲーム観客数】 現状値：年間151千人（H27～R1平均） 目標値：年間155千人（R7）</p>

# 石川県スポーツ推進計画2021の進捗状況

## 基本施策Ⅰ 生涯にわたるスポーツ活動の振興

資料1-2

太字：令和4年度新規

### 1. 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・「いしかわ県民スポーツの日」記念イベントを開催し、県ゆかりのアスリートによるトークショー、スポーツ教室を実施(R4.4.24)
  - トークショー：松本 薫さん、中川 真依さん、  
深田 彩加さん、藪本 光咲さん
  - スポーツ教室：トランポリンなど10競技
  - ※同日、県・市町スポーツ施設198施設で個人利用を無料化
- ・「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」の開催  
全57大会
- ・いしかわスポーツマイレージに「トレーニング動画機能」を追加し県内トップスポーツチームが出演したトレーニング等動画10本を掲載

### 2. 子どものスポーツをする機会の充実

- ・県スポーツ協会において「アクティブチャイルドプログラム都道府県普及促進研修会」を開催
- ・県内公立小・中・高等学校等330校を対象に、体力アップ1校1プランを実施し、各校で工夫し体力の向上を図る
- ・小学校の学級単位で4種目の記録や取り組んだ回数に挑戦する「スポチャレいしかわ」を実施  
200校、1,905クラス参加。「スポナビいしかわ」にランキングを掲載
- ・中学校運動部活動において大学教授や元プロ選手等による専門的指導の実施  
12校、21回実施

### 3. 女性や障害者のスポーツ活動の振興

- ・女性アスリートの指導に必要な基本的知識に関する講習会を実施
- ・パラスポーツの普及促進を図るためフォーラムを開催  
プロスポーツチーム公式戦2回（ツエーゲン金沢、金沢武士団）  
特別支援学校4回(金大附特支、七尾特支、小松特支、小松瀬領特支)
- ・いしかわ健康増進キャラバンを開催し、小松会場では女性、金沢会場では障害の有無にかかわらず全ての人、輪島会場では高齢者を対象に、県内トップスポーツチームの協力の下、運動・スポーツの習慣化プログラムを実施

### 4. 地域のスポーツクラブの育成と活動支援

- ・県スポーツ協会と連携し、本県における登録認証制度実施に向けた説明会を実施
- ・県スポーツ協会と連携し、中学校の休日の運動部活動の地域移行の課題等を整理する検討会議を実施

### 5. スポーツに関わる多様な人材の育成

- ・地域スポーツ人材養成講習会を開催し、地域のスポーツリーダーや総合型地域スポーツクラブのアシスタントマネージャーを養成
- ・県内のスポーツ推進委員の資質向上を図るため、地域におけるスポーツ課題を共有・意見交換する研修会を開催

### 6. スポーツ施設の整備・充実

- ・利用者の利便性向上、老朽化・長寿命化への対応、競技力向上などの観点から、毎年必要な整備を実施
- ・西部緑地公園再整備構想検討委員会 新県立野球場整備検討部会を開催（R4.9.1、R4.12.22）

### 7. スポーツに関する情報の発信

- ・「スポナビいしかわ」において、県や競技団体等が実施するスポーツ大会・イベント、講習会等の情報発信を実施

### 1. ジュニア選手の育成と強化

・最新機器を活用したスポーツ能力測定会とスポーツ見本市を一体的に開催する「いしかわジュニアアスリート発掘事業」を実施

金沢会場R4.7.2 214名、七尾会場R4.7.3 110名参加  
・スポーツ体験教室を実施（R4：7月～11月）（実施競技：ウエイトリフティングなど8競技 81名参加）

・直近の小・中学生の全国大会で優秀な成績を収めた13競技団体を指定し、県内外の合宿や国内トップレベルのコーチを招聘した講習会開催に係る経費を支援

水泳（水球）：全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 中学女子優勝

テニス：全日本ジュニアテニス選手権 男子ダブルス優勝

体操（トランポリン）：全日本トランポリンジュニア選手権大会 11～12歳 女子団体優勝

・**全国トップレベルの県内若手有望選手を日本代表選手等に育成するため、県内競技団体主体で行う育成・強化に係る経費を支援する「いしかわの次世代アスリート支援事業」を開始**

対象：体操（トランポリン）、バドミントン等 全14競技団体

成果：73名の指定選手から日本代表選手7名を輩出

### 2. より高いレベルの選手の育成と強化

・国体の成年・少年選手について、指定された選手を計画的、組織的に強化 基礎強化・重点強化への支援

第77回国民体育大会 天皇杯得点 870.5点 28位

・県中体連に加盟する各専門部が実施する強化合宿や強化練習会に係る経費を支援

（R4年度全国中学校体育大会主な結果）

相撲：団体2位、バスケットボール：男子2位

陸上競技：女子4種競技2位、水泳（飛込）：女子高飛込2位

柔道：女子63kg 2位

・高校の各指定運動部が行う強化合宿や強化練習会に係る経費を支援

＜R4年度全国高等学校総合体育大会主な結果＞

自転車：女子500mタイムトライアル 優勝

スキー（ノリスキー）：男子フリー10km優勝

＜R4国民体育大会主な結果＞

自転車：女子チームスプリント 優勝

水泳：男子1000m平泳ぎ 優勝

レスリング：男子グレコローマンスタイル71kg級 優勝

・全国トップレベルの県内若手有望選手を日本代表選手等に育成するため、各指定競技団体が行う強化合宿や強化練習会に係る経費を支援

＜R4主な結果＞ 73名の指定選手のうち日本代表選手7名を輩出

トランポリン競技：2022世界年齢別選手権

女子17歳～21歳の部 個人優勝、シンクロナイズド競技優勝

女子15歳～16歳の部 シンクロナイズド競技優勝

水泳競技：クイーンズランドチャンピオンシップ

女子14歳以下 4×50m フリーリレー 優勝

・**アーバンスポーツの普及促進イベント「ISHIKAWA URBAN SPORTS PARKS 2022」を開催（R4.10.23 金沢港クルーズターミナルにて開催、約4,000人が来場）**

### 3. スポーツ指導者の養成と資質向上

- ・各競技団体が行う、トップコーチを招へいた講習会や中央競技団体主催の研修会への指導者派遣等を支援
- ・県内で競技を継続する意思のある選手に対し、合同企業説明会への参加や個別面談の設定等を支援する「いしかわアスリートキャリアサポート事業」を実施
- ・国体競技の各競技団体との個別会議や監督者会議を実施
- ・各競技団体に対し、ガバナンス・コンプライアンス遵守の徹底を呼びかけ

### 4. 競技大会の誘致・開催

- ・県内での全国大会等の開催の誘致に向けて、県スポーツ協会や競技団体と連携
- ・日本初開催となる、アジア・パシフィック・カヌースプリント大会を木場潟カヌー競技場にて開催（R4.9.29～10.2）  
8か国 延べ約230名の選手・役員等が来県

### 5. 障害者アスリートの競技力向上

- ・全国大会出場の際に要した経費の一部を支援する「障害者アスリート支援事業」を実施  
R4年度活用実績：全国大会出場5件
- ・全国大会等で活躍できるよう、競技団体が実施する県内有望選手の育成・強化に対して支援する「パラアスリート育成事業」を実施

#### R4指定競技団体

ボッチャ、陸上競技、車いすバスケットボール、電動車いすサッカー、デフバスケットボール、スキー

#### <主な大会結果>

- ジャパンパラボッチャ競技：女子BC3：1位
- 日本ボッチャ選手権：BC3女子個人3位
- ジャパンパラ陸上競技：男子T20やり投：1位
- 日本ID陸上競技選手権：男子300mSC：2位、  
ダウン100m：1位、ダウン砲丸投：1位、ダウンやり投：1位
- パワーチェアフットボールチャンピオンシップジャパン2022：2位
- 全日本障害者知能カントリースキー競技会：クラシカル5km：2位、  
フリー5km：2位
- 全日本知的障害者スキー競技会：クラシカル10km：4位、  
フリー15km：2位

# 石川県スポーツ推進計画2021の進捗状況

## 基本施策Ⅲ スポーツを通じた地域活性化

資料1-4

太字：令和4年度新規

### 1. スポーツを通じた交流人口の拡大

- ・いしかわ里山里海サイクリングルートの利用促進を図るため、県ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等で情報発信  
モバイルスタンプラリーの実施：利用者18,817人  
フォトコンテストの実施：応募数1,468作品
- ・サイクリングルート上の観光資源を組み合わせた観光モデルプランを設定し、「ほっと石川旅ねっと」でPR
- ・「スポナビいしかわ」や「いしかわスポーツマイレージ」への掲載、県庁内でのポスター掲示などにより、県内で開催されるスポーツ大会やイベント等の情報を発信

### 2. 県内トップスポーツチーム等との連携

- ・県内のトップチームとの包括連携協定に基づき、小中学校におけるスポーツ教室等を開催  
小学校23校、中学校3校、約1,300名参加
- ・「いしかわスポーツキッズフェスタ」を開催し、トップスポーツチームの選手との交流や、パラスポーツ体験を実施（R4.8.27開催）
- ・いしかわ健康増進キャラバンを開催し、小松会場では女性、金沢会場では障害の有無にかかわらず全ての人、輪島会場では高齢者を対象に、県内トップスポーツチームの協力の下、運動・スポーツの習慣化プログラムを実施（再掲）
- ・県内トップスポーツチームとのさらなる連携を図るため、（一社）石川ユナイテッドと包括連携協定を締結（R5.1.17）  
特別支援学校におけるパラスポーツ教室を開催 2校 約100名参加
- ・日本生命（R4.2.28に包括連携協定締結）との取組  
東京パラリンピック日本代表、北間優衣選手による車いすバスケットボール教室（いしかわスポーツキッズフェスタにおいてブースを開設）

### 3. 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーの活用

- ・日本初開催となる、アジア・パシフィック・カヌースプリント大会を木場漕カヌー競技場にて開催（R4.9.29～10.2）  
8か国 延べ約230名の選手・役員等が来県（再掲）  
同大会の文化・教育プログラムとして、アスリートの連帯によりアンチ・ドーピングを解決する活動の地域展開の第1弾となる「クリーンアスリート・ソリダリティ石川」を開催
- ・アーバンスポーツの普及促進イベント「ISHIKAWA URBAN SPORTS PARKS 2022」を開催（R4.10.23 金沢港クルーズターミナルにて開催、約4,000人が来場）（再掲）

### 4. オリンピック・パラリンピック教育の推進

- ・「JOCオリンピック教室」（R5.2.3）  
バンクーバー冬季オリンピックに出場した小塚崇彦氏を県内中学校へ招聘し、オリンピックとしての経験を織り交ぜつつ、オリンピックムーブメントに関する教室を実施  
参加者：中学2年生30名